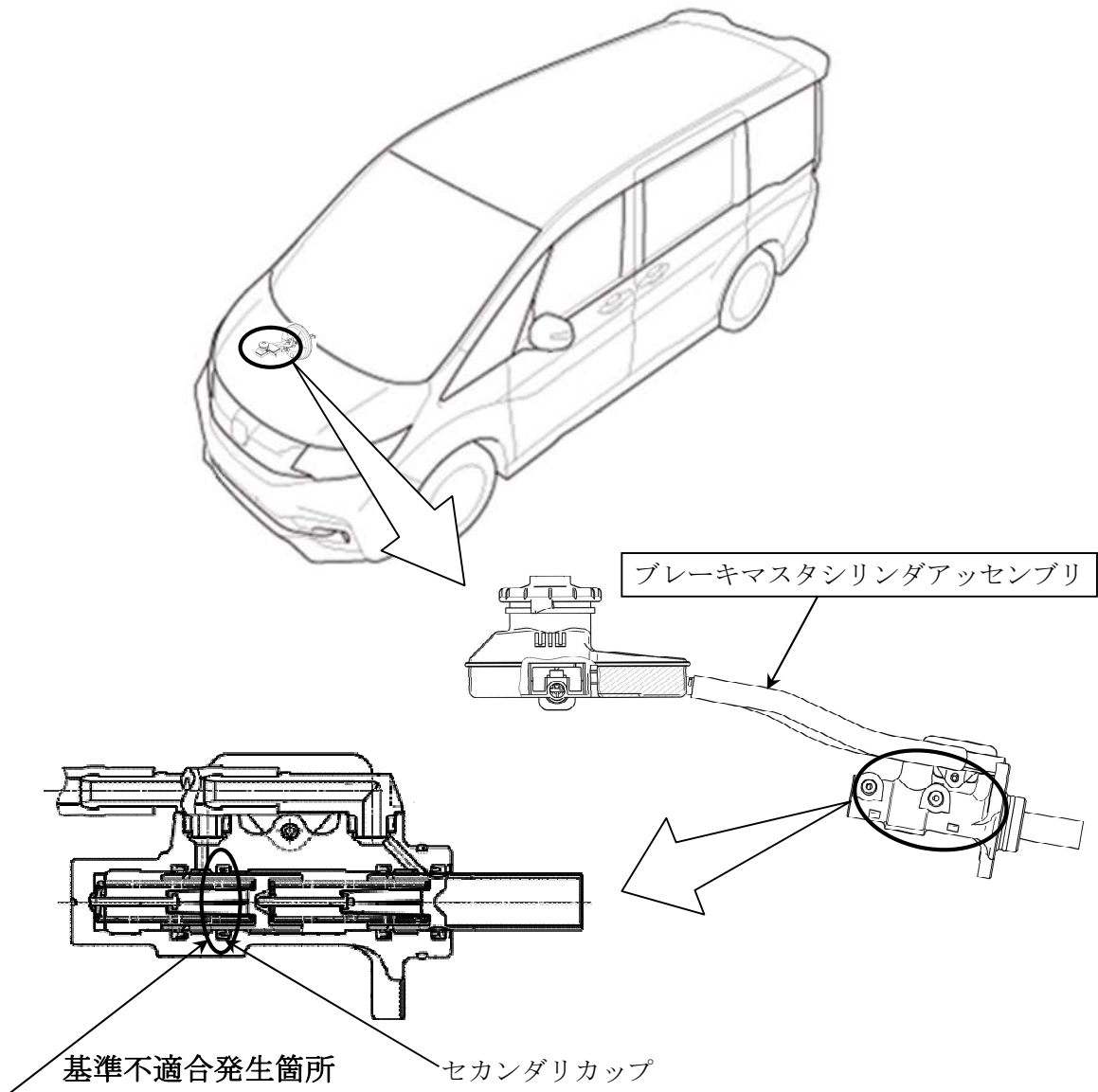


# 改善箇所説明図



ブレーキマスタシリンダにおいて、セカンダリカップの材質と形状が不適切なため、カップがリザーバタンクホースからブレーキ液中に溶け出した可塑剤により膨潤し、また、走行中のエンジンからの熱影響により膨張すると、変形することがある。そのため、シール性能が低下して、ブレーキペダルをゆっくり踏むとシール部からブレーキ液が漏れ、最悪の場合、制動距離が長くなるおそれがある。

## 改善の内容

全車両、ブレーキマスタシリンダアッセンブリを対策品と交換する。

注：  は交換部品を示す。

識別：運転席ドア下側ヒンジ上側ボルト頭部に黄色ペイントを塗布する。